

## 教会の伝道 ローマ 10:14-17

今回の説教で、「健全な教会とはどのようなものか」をテーマとした短いシリーズは終わりになります。このシリーズでは、キリスト教の核となる課題を、提案されている教会規則と結びつけてお話ししてきました。このシリーズだけでは、教会の統治について細かい説明する時間がなかったのは、十分承知しています。ただ、私がこれらの説教で成し遂げたかったのは、聖書の原則を明確にすることであり、私たちの教会規則との関連は二次的なものに過ぎません。しかし、教会規則との関係についてもっと詳しい説明が必要な方、教会規則についてもっと知りたい方、聖書的にこれらの問題をどのようにとらえているのか知りたい方は、ぜひ私のところに来てください。たとえ、あなたが明確な質問を立てられないと思ったとしても、私はこれらについて詳しく議論する機会をととても楽しみにしています。

今日は、伝道についてお話しして、この短いシリーズを締めくくりたいと思います。私たちのビジョン・ステートメントには、教会として私たちが行うすべてのことの結果として、望ましい姿が示されています。ですから、私たちの包括的なビジョンは、「神をほめたたえる」という声明で始まり、その結果として、「新しい信者が再生産される」という声明で締めくくられています。私は、先週の弟子訓練に関するメッセージの中で、「伝道せよ」という命令の中には、単に人々がキリストに信じるだけでなく、弟子を生み出すという究極的な目標があることをお話ししました。しかし、弟子を作るという目標を達成するためには、伝道、つまりイエス・キリストの福音のメッセージを分かち合うことが必要です。この分かち合いは、長老、執事、そしてメンバー全員が、日頃から行っていなければならない使命なのです。先週は、弟子訓練に関連するマタイ 28 章の大宣教命令を見てみましたが、今朝は、伝道とキリストを分かち合うことの必要性を示す別の箇所を見ていきます。ローマ 10:14-17 が今日の箇所です。あまり言いませんが、紙でも電子機器でもいいので、実際に聖書を開いて、実際におってください。説教原稿には聖句が印刷されていますが、実際に御言葉を開いて、私たちが話している聖句を自分の目で見えることを習慣にしてください。それでは今日の箇所を読んでみましょう。<sup>14</sup> **しかし、信じたことのない方を、どのようにして呼び求めるのでしょうか。聞いたことのない方を、どのようにして信じるのでしょうか。宣べ伝える人がいなければ、どのようにして聞くのでしょうか。**<sup>15</sup> **遣わされることがなければ、どのようにして宣べ伝えるのでしょうか。「なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は」と書いてあるようにです。**<sup>16</sup> **しかし、すべての人が福音に従ったわけではありません。「主よ。私たちが聞いたことを、だれが信じたか」とイザヤは言っています。**<sup>17</sup> **ですから、信仰は聞くことから始まります。聞くことは、キリストについてのことばを通して実現するのです。**

私たちには、行って弟子を作るという目標があり、また、これを命令されてもいます。しかし、まず、イエス・キリストへの信仰を持たずして、人々はどのようにイエス・キリストの弟子として従うことができるのでしょうか。使徒パウロはこのような一連の質問を通して、彼らが誰かから福音を聞く必要があると結論づけています。そして、今日の説教で皆さんに理解していただきたいのは、福音を聞く必要のある人々の中に、あなた自身が遣わされているということです！まず、最初の質問、「イエス・キリストへの信仰を持たずして、人々はどのようにイエス・キリストの弟子として従うことができるのでしょうか」に戻りましょう？この質問への答えは、「従うことはできない」というものです。なぜなら、第二の質問が指摘するように、彼らはイエスのことを知らないからです。ここで、善意のクリスチャンと、キリスト教を攻撃しようとする懐疑論者の両方から提起される興味深い疑問が浮かび上がってきます。それは「イエスのことを、福音を聞いたことのない人はどうなるのだろうか」という質問です。その答えは、ローマ人への手紙の最初の章、ローマ人への手紙 1 章にあります。いずれは、この素晴らしい書物を通読し、この箇所についてもっと詳しく説教するつもりになっていますが、今日のところはローマ 1:18-21 を読みましょう。<sup>18</sup> **というのは、不義によって真理を阻んでいる人々のあらゆる不敬虔と不義に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。**さて、18 節を読んだ段階で、少し立ち止まってみましょう。聖書は、私たちはみな不義であり、罪深い存在であると明言しています。1 章から始まるパウロの議論を見ていくと、彼はローマ人への手紙 3:10 で次のように言っています。

「義人はいない。一人もいない。」つまり、神の怒りは私たちの罪に向けられており、私たちはみな罪人であることを知っている、というところからパウロは議論を始めています。続けて、19節からパウロは、どのように神が私たちの罪に対する怒りと裁きの中においても公正であるのかを示しています。<sup>19</sup> 神について知りうることは、彼らの間で明らかです。神が彼らに明らかにされたのです。<sup>20</sup> 神の、目に見えない性質、すなわち神の永遠の力と神性は、世界が創造されたときから被造物を通して知られ、はっきりと認められるので、彼らに弁解の余地はありません。つまり、神が地上を創造し、アダムとエバ以来、地上のあらゆる場所で生きてきたすべての人間は、その被造物にアクセス可能であったため、私たちは神がご自身を現してくださらなかったとは言うことができません。言い換えれば、人間は被造物として、神の存在を知らなかったという言い訳を言うことはできないのです。しかし、人類はその神を実際に追い求めるのではなく、被造物を崇拜し、その背後にある創造主を知ろうとしなかったのです。21節はこう続けられています。<sup>21</sup> 彼らは神を知っていながら、神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その鈍い心は暗くなったのです。では、キリストを知らない人が、天地創造を通して、直接キリストを知ることができるのでしょうか？おそらくそれは無理だろうと思われる。しかし、その人は、偽りの宗教や礼拝を創造するのではなく、天地創造の背後にある神を知ろうとすることができるのです。では、「イエスのことを、福音を聞いたことのない人はどうなるのだろうか」という質問に対する答えは何のでしょうか？彼らは、イエスを知らなくても、創造主に対して責任があるのです。私は、聖書は知識によって責任のレベルが異なることを示しているように思われます。ルカの福音書 12:48 を見てください。<sup>48</sup> しかし、主人の思いを知らずにいて、むち打たれるに値することをしたしもべは、少ししか打たれません。多く与えられた者はみな、多くを求められ、多く任された者は、さらに多くを要求されます。よって、福音を聞かなかったことに基づく不信仰に対する神の裁きは様々かもしれないが、私たちは皆、不信仰に対する責任があり、聖なる神の御前で裁かれるのです。地獄と裁きがどのようなものなのか、私たちには完全な知識が与えられてはいませんが、はっきりしているのは、ヘブル人への手紙 10:31 に、イエス・キリストを拒む者について書かれていることです。<sup>31</sup> 生ける神の手の中に陥ることは恐ろしいことです。

だからこそ、人々が福音を聞くというこの問題はとても重要な問題なのです。イエス・キリストを受け入れていないすべての人々の罪に対する神の怒りが注がれる審判の日は、必ずやってきます。では、その人たちはどうやって福音を聞くことができるのでしょうか。自然は神を指し示しています。しかし、口を開いてイエス・キリストの福音を宣べ伝えることはできません。だからこそ、ローマ人への手紙 10:14 は次のように述べています。宣べ伝える人がいなければ、どのようにして聞くのでしょうか。時として、宣教という言葉は、長老が伝えることを指している場合があります。例えば、テモテへの手紙第二 4:2 で、パウロは若い牧師のテモテに、みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさいと、語っています。しかし、福音を宣べ伝えること、宣教は牧師や長老だけの仕事ではありません。宣教は、すべてのクリスチャンが担うべきものなのです。先週、マタイ 28:19-20 の大宣教命令についてすでにしましたが、今日は、ルカが使徒言行録 1:8 で、宣教についてどのように語っているかを見てみましょう。<sup>8</sup> しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。」神は私たちすべてを、神の証人、神の福音の証人となるために用いられます。ある者は他の者よりも福音を伝える才能に恵まれているかもしれない。しかし、私たち、クリスチャンの中に、福音を宣べ伝えるように召され、宣教するように命じられていない者はいないのです。聖霊は、パウロを通して、第二コリント人への手紙、5:11 で次のように語っています。<sup>11</sup> そのため、主を恐れることを知っている私たちは、人々を説得しようとしています。私たちのことは、神の御前に明らかです。しかしそれが、あなたがたの良心にも明らかになることが、私の望みです。ですから、私たちが主イエス・キリストを知っているなら、他の人にも知ってもらいたいと思うのが当たり前です。それはなぜでしょうか？第二コリント人への手紙、5:14-15 を見てみましょう。<sup>14</sup> というのは、キリストの愛が私たちを捕らえているからです。私たちはこう考えました。一人の人がすべ

ての人のために死んだ以上、すべての人が死んだのである、と。<sup>15</sup> キリストはすべての人のために死なれました。それは、生きている人々が、もはや自分のためにではなく、自分のために死んでよみがえった方のために生きるためです。つまり私たちが他人にもキリストを知って欲しいと思うのは、私たち自身のキリストへの愛を示すためであったり、キリストにおいて示された神のこの世に対する愛を知ったからなのです。キリストの愛は、罪人のために死ぬことによって世に示されました。だから、ヨハネによる福音書 3：16 は次のように言っています。<sup>16</sup> 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。私たちが宣教しなければ、どうやって、仲尾台や中区や横浜の人々は、神が彼らを愛し、イエス・キリストが彼らの罪のために死んでくださったことを聞くことができるでしょうか？

福音を宣べ伝えるに行くのは誰なのでしょう？すでにある程度お話ししていますが、さらにパウロはローマ人への手紙 10：15 で、別の質問で答える形で議論を進めています。<sup>15</sup> 遣わされることがなければ、どのようにして宣べ伝えるのでしょうか。「なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は」と書いてあるようにです。この言葉には、私たちクリスチャンは、みな福音を伝えるために遣わされているという答えが含まれています。大宣教命令は、キリストが天に帰られた後、残った 11 人の使徒とパウロだけに任されたわけではありません。聖書には、福音を信じたすべての人々が、福音を託された者であると述べられています。テサロニケ人への手紙第一 2：4<sup>4</sup> むしろ私たちは、神に認められて福音を委ねられた者ですから、それにふさわしく、人を喜ばせるのではなく、私たちの心をお調べになる神に喜んでいただくとして、語っているのです。もし、あなたがイエス・キリストを知っているなら、あなたは最高のメッセージ、最高の贈り物、そのメッセージを他の人々と分かち合うという最高の命令を託されているのです。そのメッセージ、贈り物は、隠しておくためのものではありません。聞く必要のある人たちに、与えるためのものなのです。この世で私たちができる最も素晴らしいことは、友人、家族、同僚のところへ歩いて（あるいは車で、あるいは自転車で、何でもいい）行き、イエス・キリストのことを宣べ伝えることなのです。パウロがイザヤ書 52 章を引用して、福音を宣べ伝える人の足は美しいと述べています。私たちは、足や別の移動手段を使っているいろいろな場所に移動し、いろいろなことを日々しています。そのうち、誰かと福音を分かち合うのは何回あるのでしょうか？

もちろん、私たちから福音を聞いたすべての人がイエスを信じるようになるわけではありません。結局のところ、父なる神が聖霊を通して彼らを救いに引き寄せない限りは、人はイエスを信じることができません。イエスはヨハネによる福音書 6：44 で、「<sup>44</sup> わたしを遣わされた父が引き寄せてくださらなければ、だれもわたしのもとに来ることはできません。」と述べています。パウロは、私たちの宣教が必ずしも望むような実を結ぶとは限らないことを理解しており、16 節では次のように繋げています。<sup>16</sup> しかし、すべての人が福音に従ったわけではありません。「主よ。私たちが聞いたことを、だれが信じたか」とイザヤは言っています。<sup>17</sup> ですから、信仰は聞くことから始まります。聞くことは、キリストについてのことばを通して実現するのです。この最後の 2 節に述べられている自由はどのようなものなのでしょう。私たちは、福音を宣べ伝える責任から解放されたわけではありません。ただ、彼らのどのような反応を示そうとも、それは私たちの責任ではないのです。エペソの信徒への手紙にあるように、彼らの信仰は神からの賜物として与えられたものなのです。エペソ人への手紙 2：8、<sup>8</sup> この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。彼らの信仰は、私たちから福音を聞くことによってもたらされるが、最終的に彼らが聞くべきは私たちの声ではなく、キリストの声なのです。私たちは単なる口添え人であり、もし彼らが応答するならば、それは私たちの声に応答しているのではなく、キリストの声、つまり福音に応答しているのです。しかし間違えてはならないのは、私たちは福音を宣べ伝え、キリストを分かち合うことに専念しなければならないという点です。アッシジのフランチェスコの言葉だと間違っているとされる、「福音を宣べ伝え、必要であれば言葉を用いよ。」という表現があります。この表現の問題点は、本当に福音を宣べ伝えるのであれば、どこかで言葉を使わなければならないという点です。私たちはキリ

ストを反映するような生き方をすべきです。しかし、それしかししないのであれば、人々は、私たちが道徳的で善良な人間であることは知っていても、本当に道徳的で善良な人間にしてくださる救い主の力のことを知ることはできないでしょう。その働きはすべてキリストによってなされたものなのです。しかし、神は、福音を宣べ伝える私たちの忠実さをお使いになり、人々が、自分は救い主を必要とする罪人であり、その救い主の名はイエス・キリストであるというメッセージを聞き、それに応答できるようにしてくださるのです。私は意図的にローマ人への手紙 10：14 から始め、なぜ福音を伝える必要があるのかというパウロの主張を追ってきました。しかし、彼の疑問と福音への真の呼びかけは、ローマ人への手紙 10：13 で、ある人々がその福音を聞いたらどうなるかという節から始まっているのです。<sup>13</sup> **「主の皆を呼び求める者はみな救われる」のです。**福音を聞き、イエス・キリストを自分の主であり、救い主であると信じて応答する人は皆救われるのです。もちろん、私たちは皆そう信じています。しかし、パウロは今日見てきた13節以降の箇所を通して、その人が主の御名を呼び求めるとき、それは、イエス・キリストの福音を伝える第一歩を踏み出すことをからスタートすることを示しているのです。私たちの周りには、イエス・キリストを知らずに迷っている人がたくさんいます。そして間違いなく、今日の世界における最大の問題は、ホームレス問題でも、戦争でも、自然災害でも、経済格差でもないのです。それは、イエスを知らずに「彷徨い」続けることなのです。人生における最大の問題は、経済的な問題でも、家庭の問題でも、良い教育を受けることでもありません。それは、イエスを知らずに「彷徨い」続けることなのです。イエス・キリストがいなければ、私たちは罪のうちに死んでおり、私たちの創造主から永遠に引き離されてしまっていたでしょう。しかし、神は私たちに福音を与え、解決策を与えてくださいました。ハレルヤ！イエスは、史上唯一の完全な人間として地上に来られ真下。イエスは、私たちの罪が赦され、神の子として神の家族に入れるように、自ら進んで十字架にかかり、私たちの罪に対する神の怒りを背負って死なました。今週、私たちはバケーション・バイブル・スクールを開催しますが、私たちがこのイベントを開催する唯一の理由はそこにあります。私たちは、私たちの近所に住む子どもたちや家族をこのイベントに招待することで、少しでも彼らが暗闇で彷徨うのではなく、光に導きたいのです。私たちは、イエスが彼らを愛し、彼らの罪を赦したいと願っておられることを、つまり福音を伝える、神の奉仕者なのです。

今日、私たちは聖餐式を通じて、赦しをもたらしたキリストの十字架上の犠牲を思い起こします。もしあなたがイエス・キリストを知っていて、バプテスマを通して、あなたの人生においてイエス・キリストが主であることを宣言されているのであれば、今日の聖餐式に参加してください。もしあなたがイエスを知らない、あるいはバプテスマを受けていないなら、参加しないでください。また、まだ準備ができていないお子さんをお持ちの方は、聖餐式にお子さんを参加させないことで、聖餐式の大切さを教えてあげてください。私が祈った後、執事が聖堂の四隅からパンとジュースを配りますので、共に食べ、共に飲みましょう。それでは、祈りましょう。

## The Evangelism of the Church Romans 10:14-17

This sermon will conclude our short series on what it means to be a healthy church. I've tried to connect these core issues with how we have written our proposed Constitution. I know that there is not a lot of time in these messages to clearly draw those lines to our governing documents. The most important thing I want to accomplish with these sermons is to make the Biblical principles clear, and the connections to our Constitution is secondary. But please come talk to me if you want any fuller explanations of these topics or want to know more about anything in the Constitution or how we view these issues Biblically. I really do enjoy the opportunity to discuss any of these in more detail even if you think you are not able to formulate clear questions.

Today, I want to close this series by talking about Evangelism. Our vision statement shows that this is the hoped for result of everything we do as a church. So, the statement that opens with our overarching **vision to Glorify God, closes with the statement that part of how we will do that is to reproduce in new believers and new churches. (ON SCREEN)** I pointed out last week in the message on discipleship, that the command to evangelize has the ultimate goal of producing disciples, not just seeing people respond in faith to Christ. But evangelism, sharing the message of the gospel of Jesus Christ must happen if we are going to see that goal of disciple-making take place. It is a mission that all of Elders, Deacons and members must be doing on a regular basis to see this vision fulfilled. Last week, we looked at the Great Commission in Matthew 28 as it relates to making disciples, but this morning, I want us to look at a different passage that shows the serious need of evangelism and sharing Christ. Romans 10:14-17 is our passage for today. I don't say it often, but I encourage you to actually open your Bible on paper or on your electronic device and follow along. I know we have the verses printed in the manuscript, but you should make it a habit to actually open the Word of God and see the Scriptures we are talking about for yourself. Let's read **Romans 10:14-17 to begin. 14 How then will they call on him in whom they have not believed? And how are they to believe in him of whom they have never heard? And how are they to hear without someone preaching? 15 And how are they to preach unless they are sent? As it is written, "How beautiful are the feet of those who preach the good news!" 16 But they have not all obeyed the gospel. For Isaiah says, "Lord, who has believed what he has heard from us?" 17 So faith comes from hearing, and hearing through the word of Christ.**

We have this goal, this command even, to go and make disciples. But how will people follow Jesus Christ as his disciples unless they first call on him in faith? Through a series of questions, the Apostle Paul leads us to the conclusion that they need to hear the gospel from someone. And what I hope you hear in this sermon today, is that for some of those people who need to hear the gospel, the person being sent is you! So, the first question is how will people call on Jesus when they have not believed in Jesus? The answer is they won't. They can't, because as the second question points out, they have never heard of him. Now this brings up an interesting question that gets raised by both well-meaning Christians and skeptics seeking to attack Christianity. What happens to those who have never heard the Gospel? For the answer to that question, we need to go to the first chapter of this book, Romans 1. Someday when I finally gather the courage to preach through this amazing book, I

will do a more thorough exposition of this passage, but for now, I want us to look at Romans 1:18-21. 18 For the wrath of God is revealed from heaven against all ungodliness and unrighteousness of men, who by their unrighteousness suppress the truth. Now, let's stop here at verse 18 for a minute. Because the Bible is clear that we are all unrighteous and sinful. If we look a couple chapters later in Paul's argument that begins in chapter one, he says in Romans 3:10, "as it is written: "None is righteous, no, not one..." So, he begins by saying that God's wrath is directed against our sin, and we know that we are all sinners. As he continues, he demonstrates starting in verse 19, why God is just in his wrath and judgement against our sin. 19 For what can be known about God is plain to them, because God has shown it to them. 20 For his invisible attributes, namely, his eternal power and divine nature, have been clearly perceived, ever since the creation of the world, in the things that have been made. So they are without excuse. So, because God created, and that creation is accessible to all humans since Adam and Eve who have ever lived in every place on earth, humans cannot say that God has not revealed himself to them. In other words, they cannot use the excuse that they did not know that there was a God they were accountable to as Created beings. But instead of actually seeking after that God, humanity in large part worshipped the things God had created rather than seeking to know the Creator behind those things. So verse 21 continues, 21 For although they knew God, they did not honor him as God or give thanks to him, but they became futile in their thinking, and their foolish hearts were darkened. Now could a person who never heard of Christ learn of him through Creation? Probably not. But that person could seek to know the God behind the Creation rather than creating false religion and worship around those things and God would reward that desire with further revelation of himself eventually leading to Christ. So, what is the answer about those who have never heard? They are accountable to their Creator. I do believe the Bible seems to show different levels of accountability based on knowledge. Luke 12:48 Everyone to whom much was given, of him much will be required, and from him to whom they entrusted much, they will demand the more. Everyone to whom much was given, of him much will be required, and from him to whom they entrusted much, they will demand the more. So, there may be varying levels of judgement in hell for unbelief based on not hearing the gospel, but we are all accountable and will be judged before a holy God. We are not given complete knowledge of what hell and judgement are like, but what is clear is that as Hebrews 10:31 says about those who reject Jesus Christ, It is a fearful thing to fall into the hands of the living God.

That is why this issue of people hearing the gospel is so important! There is a coming day of judgement where the wrath of God will be poured out against sin and sinners on all those who have not accepted Jesus Christ. So, how are those people supposed to hear the gospel. Nature points to God, but it cannot open its mouth and preach the gospel of Jesus Christ, only humans can do that. So, Romans 10:14 continues, **And how are they to hear without someone preaching?** Sometimes the word preach is used to refer specifically to Elders preaching the Word of God such as 2Timothy 4:2 where Paul tells the young Pastor Timothy, **2 preach the word; be ready in season and out of season...** But the preaching or proclaiming of the gospel is not just for pastors. All Christians are called to this task. We already looked at the Great Commission in Matthew 28:19-20 last week, but let's look at how Luke describes it in Acts 1:8. **But you will receive power when the Holy Spirit comes on you; and you will be**

my witnesses in Jerusalem, and in all Judea and Samaria, and to the ends of the earth.” God uses us all to be witnesses for him, witnesses to his gospel. Are some more gifted at sharing the gospel than others – maybe. But none of us can say we are not called and commanded to preach or proclaim the gospel. The Holy Spirit tells us through Paul in [2Corinthians 5:11](#), [11 Therefore, knowing the fear of the Lord, we persuade others](#). So, when we know the Lord Jesus Christ, there should be a natural response to want others to know him as well. And why is that? When we drop down to [2Corinthians 5:14-15](#), [For the love of Christ controls us, because we have concluded this: that one has died for all, therefore all have died; 15 and he died for all, that those who live might no longer live for themselves but for him who for their sake died and was raised](#). This could be love for Christ on our part, or knowing the love that God has for the world as demonstrated in Christ, that would motivate us to share Christ with others. His love was shown for the world by dying for sinners. So, [John 3:16](#) says, [16 “For God so loved the world, that he gave his only Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life](#). How will people in Nakaodai and Nakaku and Yokohama hear that God loves them and Jesus Christ died for their sin unless we tell or preach the gospel to them?

Who is it that is supposed to go and share the gospel? I know I have already said this, but Paul will answer it with another question in verses 15 of Romans 10. [15 And how are they to preach unless they are sent? As it is written, “How beautiful are the feet of those who preach the good news!”](#) Implied in this statement is the answer that we are all sent. The Great commission did not just apply to the 11 remaining apostles and Paul after Christ returned to Heaven. The Bible describes those who believed the gospel as having been entrusted with the gospel. [1Thessalonians 2:4](#) says, [4 but just as we have been approved by God to be entrusted with the gospel, so we speak, not to please man, but to please God who tests our hearts](#). If you know Jesus Christ, you have been entrusted with the greatest message, the greatest gift, the greatest commandment to share that message with others! It’s not yours to hide away...it’s yours to give away by preaching it to those who need to hear. The most beautiful thing we can do in this world is to walk (or drive, or bike, whatever) to our friend, our family member, our co-worker, and tell them about Jesus Christ. This is how Paul is using the quote from Isaiah 52 about the beautiful feet of those who preach the gospel. We move many places with our feet or another form of conveyance to do many different things. How many times is it to share the gospel with someone else?

Of course not everyone who hears the gospel from us will respond. Ultimately, they will not respond unless God the Father draws them to salvation through the Holy Spirit. Jesus says in [John 6:44](#), [44 No one can come to me unless the Father who sent me draws him...](#) Paul recognizes that our preaching of the gospel will not always bear the fruit that we desire. So, verse 16 continues, [16 But they have not all obeyed the gospel. For Isaiah says, “Lord, who has believed what he has heard from us?” 17 So faith comes from hearing, and hearing through the word of Christ](#). What freedom there is in these final two verses. We should not take these words as freeing us from the responsibility of preaching the gospel, but freeing us from the burden of their response. Their faith that Ephesians tells us is granted as a gift from God. [Ephesians 2:8](#), [8 For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God...](#) Their faith comes through hearing the gospel from us, but ultimately it’s not our voice they need to hear, but Christ’s. We are simply the mouthpiece, and if they respond, they are not responding to us, but to the Word of

Christ...the gospel. But make no mistake, we must be about the business of preaching the gospel and sharing Christ. There is a quote that is often wrongfully ascribed to Francis of Assisi, who did not practice or believe this way that says, "preach the gospel and if necessary use words." The problem with this is that we must use words at some point if we are truly preaching the gospel. Yes, we should live a life that reflects Christ; but if that is all we do, then people may know us as a moral and good person, but never know of the Savior who truly makes us moral and good in God's sight. The work is all done by Christ. But God uses our faithfulness in preaching the gospel so that people can hear and respond to the message that they are a sinner who need a Savior, and his name is Jesus Christ. I intentionally started with verse 14 of Romans 10 and followed Paul's argument of why we need to share the gospel. But his questions and really call to preach the gospel begins with what happens when some people hear that gospel in Romans 10:13. 13 For "everyone who calls on the name of the Lord will be saved." Everyone who hears the gospel and responds by believing and trusting in Jesus Christ as their Lord and Savior, will be saved. Of course we all believe that, I hope. But the incredibly sobering part of this is that Paul continues on through our passage we have looked at today past verse 13 to show us that when that person calls on the name of the Lord, it may start with us taking the first step towards them to share the gospel of Jesus Christ. All of us know people around us who are lost and without Jesus Christ. And make no mistake, the greatest problem in the world today is not homelessness or wars or natural disasters or financial disparity. The greatest problem in the world is lostness. The greatest problem in every person's life is not finances or family problems or getting a good education, it is lostness. Without Jesus Christ, we are dead in our sins and separated for eternity from our Creator, whose wrath is directed against us because of our sin. But praise God that the gospel gives the solution. Jesus came and lived as the only perfect human being ever. He died willingly on a cross and took God's wrath against our sin on himself so that we can be forgiven and adopted as a child of God into the family of God. This week as we head into our Vacation Bible School, that is the only reason we hold this event. We want to push back the darkness, the lostness, even a little bit with the children and families that live in our neighborhoods. We are servants being used by God to preach the gospel to children and adults who have never heard that Jesus loves them and wants to forgive their sins.

Today, we remember that death and Christ's sacrifice on the cross that brings forgiveness through the Lord's Supper. If you know Jesus Christ and have demonstrated his lordship in your life by being obedient in baptism, then I invite you to join us in this Communion meal today. If you don't know Jesus or have not been baptized, then I would ask you not to participate. And if you have children who are not ready, then parents can teach them the importance of the Lord's Supper by not allowing them to participate. After we pray, the Deacons will serve the bread and juice from the 4 corners of the sanctuary, and we will eat together then drink together. Let's pray.